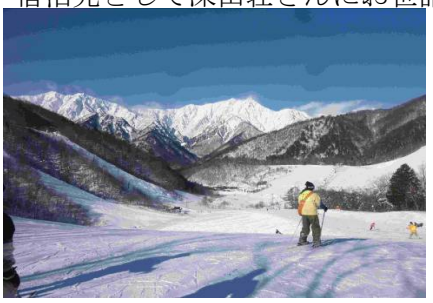
＝＝スキー訓練開催する＝＝

２０１１年１月７日から９日にかけ、長野県大町市の鹿島槍スノーヴィレッジにて開催ました、昨年にひきつづき今回も往復の交通手段としてアルプス交通さん、宿泊先として深山荘さんにお世話になりました。

出発前の車内



一日目は快晴！

“実行委員のみなさん御苦労さまでした”

今回のスキー訓練にあたり下記の方々に実行委員として企画から実施，運営までをお願い致しました。

○　実行委員メンバー

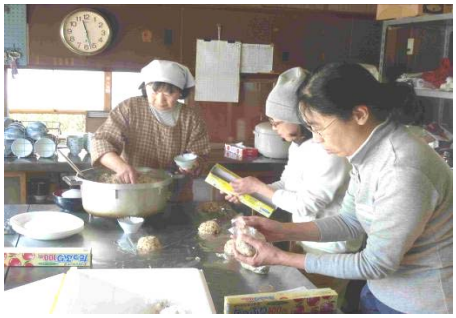
大澤　晶	(VS隊長)	実行委員長として、全体のとりまとめを行いました。
鈴木　文志	(BVS隊長)	全体のプログラム（日程）の作成ととりまとめを行いました。
Ｓさん	(CS副長)	会計全般に関わる作業を行いました。
Ｋさん	(BS副長)	安全・危機対策に関わるとりまとめを行いました。
Ｂさん	(VS副長補)	全体のプログラムの補佐を行いました。
Ｉさん	(団委員)	事務局として、団との窓口および渉外担当をしました。

”引率の保護者と深山荘さんに感謝”

スキー訓練初日に予期せぬ事件が発生しました、スキーゲレンデのセントラルプラザ１１３０’内でノロウイルスが発生し、ゲレンデ内で食事可能な施設が使用不可能となりました、そこで深山荘さんが急遽、昼食の対応をとっていただき、朝食後おにぎり用のご飯を炊き、深山荘さんのおばさんたちと、宿での待機の保護者で１００個近くのおにぎりをにぎり、稲垣団委員長、大澤実行委員長とともにリフトに乗りゲレンデまで運び、スカウトをはじめ参加者に支給することができました。

２日目も食事可能な施設の状況が変わらず、同じ対応で昼食の対応をとることなりました。

このおにぎりのご飯は、深山荘さんのご厚意でひじきの炊き込みごはんで握っていただき、また野沢菜，たくわんやりんごまで用意して頂き、普段スカウト弁当で活動しているスカウトたちにとっては豪華な昼食であったことでしょう。。。



↑おにぎり調理中
この状態でゲレンデに運搬↓

”つららによる窓ガラス破損”

２日目の出来事ですが、屋根から垂れ下がっていたつららが落下し、宿のトイレの窓ガラスが割れました。頭上のつららには要注意です。

”スキーコーチ　Ｈさんありがとう”

昨年にひきつづき、今回もＨさんがコーチとして参加して頂き、上級クラスのスカウトに引率し、スキー技術の指導を行って頂きました。また来年度の訓練にもご協力して頂きたいと思います。ほんとうにありがとうございました。

団スキー訓練を終えて

団スキー実行委員長　大澤　晶

22年度のスキー訓練も皆様のご協力のおかげで、無事に終了いたしました。団内のコミュニケーションの向上、スカウト個々のスキー技術の向上、という目標を達成できたのではないかと思います。

ご参加いただいたご父兄、指導者、団委員、そして実行委員の皆様に改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

毎年スキー場で子供達を見ていると「なんて上達が早いのだろう」と感心させられるのですが、よく考えてみるとスキーはもちろんつまり子供たちが興味を持った時、それを自分に取り入れようとする彼らの吸収力は大人に比べてものすごく高く、成長スピードが速いと言うことではないでしょうか。

そう考えていくと普段のスカウト活動でも、興味を持てるプログラムを常に展開できることがスカウト個々の成長につながるのだと改めて感じさせられました。

そしてそのプログラムの中に「ちかい」と「おきて」のエッセンスが注入されていることが重要なポイントですよね。自分も含めて指導者の皆さんには改めて自隊の活動の点検をしてみてください。

～スキー訓練フォトアルバム～

一日目、朝礼後の集合写真

現地のコーチが丁寧に指導

深山荘玄関前

初心者グループのレッスン開始

二日目は少し吹雪となりました

リフトの係員も親切に対応

朝食

夕食

帰りの集合写真
深山荘玄関前・・・雪です。